

## 代表質問

## 各会派の代表者が市長の施政方針に対する代表質問をしました



## 政友会

(質問者：鈴木 隆 議員)

## 市政宣言について

問 第2次古河市総合計画が目指す「華のある都市（まち）古河」を実現するため「まちに活力、人に安心、魅力あふれる都市づくり」を市政宣言に掲げたが、①その宣言の背景と位置づけ②宣言に込めた市長の思い③今後の取り組みについて伺う。

答（市長） ①就任後これまでは

「市民と共に未来に誇れるまちづくり」、令和2年度からは新たに市政宣言を掲げた。②活力や安心を生み出すことにより、他自治体にはない魅力がいつばいの都市になると考えている。③企業誘致の促進や避難所環境の整備等による災害対策の強化など、市の魅力を高める施策を展開していく。

## 「スポーツのまち古河」について

問 スポーツは明るく豊かで活力に満ちた社会の形成と、心身の健全な発達に必要不可欠である。①スポーツ推進計画の基本方針②老朽化著しい古河体育館を含めたスポーツ施設の再配置計画、③スポーツのまち古河の

推進に向けた取り組みを伺う。



答（市長） ②令和3年度に古河体育館アリーナの閉鎖を予定しているが、スポーツ推進の立場からも、たとえ他の場所に分散しても機能の維持を図っていきたい。③基本理念の地域丸ごと運動場の実践を図りつつ、古河中央運動公園のスポーツ施設の拠点化および施設の機能アップ等の重点化をめざし、指定管理者制度の導入も進めたい。

答（教育長） ①スポーツで人を動かす、スポーツでまちを動かす、スポーツで心を動かすを施策の3本柱に定めている。



## 市民ベースの会

(質問者：落合 康之 議員)

## 市政運営の基本方針について

問 以下の9点について伺う。「災害に対する安心と安全」について①古河版マイタイムラインのその後②共助の強化策。「プロジェクトの推進」について③新市建設計画の内容見直しの検討。「新たな時代への対応」について④AIの実証実験の内容⑤ICT、IoTの充実について⑥SDGsの具体的な予定。市

民協働「地域みんなで古河をつくる」について⑦人的支援への取り組み。健康福祉「互いに支え合う古河をつくる」について⑧災害発生時の福祉避難所について⑨障がい者の福祉政策のスキーム。

答（市長） ①4月に配布予定の新しい洪水ハザードマップのマイタイムライン作成欄を使用し一層の普及に努めていく。②水防説明会等を活用し共助の重要性を啓発していきたい。③新市建設計画を令和12年度まで延長し、合併特例債を有効活用できるよう作業中である。④AIが市民の問い合わせに24時間、365日自動回答する総合案内サービスの実証実験を進める。⑤学校

教育分野ではタブレット等をいち早く導入し、授業で活用している。複数の自治体が共同でデータセンターを利用する自治体クラウドの導入を検討している。⑥2年度からの総合計画の第2期基本計画へのSDGsの取り入れを検討している。⑦地域の諸問題に対し相談対応等を行っている。⑧台風19号の際は指定避難所に福祉避難室を設けていた。福祉避難室の設置拡大に向け県と協議していく。⑨第6期古河市障害福祉計画等で成果目標を掲げ、到達状況を古河市障害者自立支援協議会に報告し、事業の進捗を管理していく。

